

知事と区市町村長との意見交換（練馬区）

令和元年 10 月 16 日（水）

17 時 10 分～17 時 30 分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。知事から一言お願いいたします。

○知事 前川区長には長年、いろいろと御指導ありがとうございます。また、都政運営につきましては長く関わってこられただけでなく、現在練馬区長として様々御協力いただいております。改めて御礼申し上げたいと思います。

これからの東京都としての長期戦略を描くということで、お越しいただきました。限られた時間ではございますけれども、ビジョンをお聞かせいただき、そして参考にさせていただこうと思います。よろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは前川区長、お願いいたします。

○練馬区長 こちらこそよろしくお申し上げます。知事とは今までのような形でお話をさせていただきましたけれども、こういうフォーマルなのは初めてですね。大変こういう機会をつくっていただいて、感謝申し上げたいと思います。

そしてまた村山さんをはじめとして、皆さんにこういう形でお目にかかるっていうのは、なんか昔に返ったようで嬉しいような、不思議なような、奇妙な気がしておりますけど、どうかよろしくお申し上げます。

それではお手元の画面を見ながら説明させていただきたい。真面目にやりますので、よろしくお申し上げます。

まず、もう知事御自身が練馬区にお住まいなのでよく御存じだと思いますけれども、練馬区の基本コンセプトはここにありますように、都心に近い緑豊かな住宅都市。これは今までもそうでしたし、これからも変えるつもりはありません。

私も区長就任以来、ここにありますように改革練馬を旗印にしてきましたが、その中身は緑の風吹くまちをつくるって、そういうビジョンを基本にしてやっております。

ただ、今お話があったように、長らく行政やってきたんで、区長になって初めて分かったことも若干あります。それは基本的には国ではできない、それから東京都のような巨大な自治体ではできない、身近な、言わば基本的な基礎的自治体だからこその自治をやりたいと、そういうことでありまして、中身は2つあります。

そこにありますが、1つは先駆的な政策をやりたいこと。これは小回りが利く自治体だからできると思ってるんですけども、こういう緑の風吹くまちビジョンっていうのをつくりまして、これはもうお手元についてませんけれども、戦略計画というのを21つくってやっています。

例えばそこにありますように、練馬こども園。これは口幅ったいですけども、本格的な幼保一元化施設として初めてだろうと思っておりますが、これを18つくっています。さらに街かどケアカフェ。真ん中にありますが、これは高齢者の方とか、あるいは市民の方が

気楽に集まって話し合いをしたり、あるいはまた地域包括支援センターの職員と一緒に相談に乗ったりとか、そういう場をつくっております。これのいわば子供版の練馬こどもカフェというのもつくりまして、今年度から始めております。

そしてまた来月の末ですが、この写真は知事御存じのとおり練馬大根引っこ抜き大会ですけど、来られたこともあります。これはイベントですけれども、29日から30日、1日の3日間で世界の5都市を集めて、ニューヨークとロンドンと、それからソウル、ジャカルタ、そしてトロントと、5都市を集めて、都市農業に関するシンポジウムを開催する予定であります。今のところソウルも来ると言っていますので、いろんな意味でしっかりやっていきたいと思っています。

こういったことをいろいろやっておりますけれども、もう1つ住民自治のさらなる進化。これが区の一番大きな課題の一つかなと思っております。私自身も区長になって、ああ、これが本当の自治かなと実感しております。先ほどお話をした街かどケアカフェとか、あるいはこどもカフェとか、そういったものもそうですが、これを単なる住民参加から共同へと進化させていきたい。そう考えております。

これまで区長との懇談会だけでも79回やりましたけれども、その他に様々な形で地域に私が出掛けて行って、話し合いを重ねているところであります。

そして今日の課題ですけれども、練馬区特有の課題は緑豊かな環境と一体となった都市インフラの整備であると考えています。

当然、練馬区は自治体として多くの課題を抱えておまして、例えば少子高齢化であるとか、少子高齢化への対応、あるいは他の区もそうですが、経年劣化が進んでいる区の施設、これを更新しなくちゃいけない。この2つは莫大な金が掛かるんですけれども、これは言わば各区が知恵を出し合って、お互いに頑張っていけばいいと思っているんですけれども、ただ練馬区特有の課題である都市インフラの整備、都市計画道路の整備と大江戸線の延伸。これは残念ながら練馬区ではできませんので、東京都に積極的な協力をお願いしたい。それを今日お話をしたいと思います。

これを見ていただきますと、もう御存じですけれども、道路ネットワークが分断をされておまして、練馬区の都市計画道路の整備率は約50%でありまして、都心区では77%、特別区平均で65%ですから、著しく低い。しかも練馬区の西側では約30%に過ぎない、これをなんとかしたいと。

それから東京都と一緒につくった第4次事業化計画で、完成時には着工をベースで8割に持っていきたいと思っておりますが、単なる道路ではなくて、緑が連続をした街路樹をつくって、緑のネットワークも兼ねてつくっていききたい。これには東京都に頑張ってもらえないと出来ないんで、ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

それからその道路の一貫として西武新宿線の連続立体交差化を、これをぜひお願ひをしたい。これも都事業そのものでありますけれども、ここにありますように、西武新宿線の代々木駅から柳沢駅間の整備になりますが、全体が5.1キロありますけれども、区では約3キロと。これだけ長い、大きな連続立体交差化が必要な場所っていうのは、他にはないだ

ろうと思っておりますが、これもぜひお願いをしたいと思っております。

そしてもう1点。大江戸線であります。これも知事はよく御存じでありますけれども、練馬区の北西部には23区内でも顕著な鉄道空白地域が存在をしております。鉄道空白地域はこの地図にありますように、右の方の区部東部にも結構あるんですけども、住んでいる人口の多さとか、駅からの距離から見ると、多分区部で最大の鉄道空白地域だろうと思っております。これが出来ないと、東京都の鉄道網も一貫しないものになるなと思っております。これは私の区長としての最大の課題の一つだと思っております。

御存じのとおり、都と国が連携をして選定をした6路線がありますけれども、この中の一つに大江戸線を挙げていただきましたので、これを準備が整った路線から速やかに着工をすべきであると。私どもは大江戸線が一番準備が進んでいると考えております。

次を御覧いただきますと、この辺はいろいろ御意見いただきたい。用地は、導入空間の道路の用地確保率は8割を超えております。沿線のまちづくりも進んでおります。区の延伸推進基金も既に50億円積み立てております。私の聞いている限りでは、全体の整備費は600億から700億と聞いておりますので、その1割近い金額を用意しております。

そしてまた、交通局との実務的な協議も進んでおりまして、トンネルの構造であるとか、駅舎の位置であるとか、それから大江戸線の延伸にあたっては車庫が必要なんですね。現在でも車庫が足りないんですが、それも用意できると思っておりますので。

そして大江戸線のメリットは政治的なしからも全くありませんので、交通局の採算性も向上してきてますから、ぜひともこの機会にお願いしたいと。それが、大江戸線が通ることによって、都内の鉄道網もシステムとして完成するのかなと、私は思っております。

以上でございますが、この他にもう一言申し上げたいんです。資料にありませんけれども練馬城址公園、豊島園なんですが、これは御存じのとおり、平成23年に防災の拠点として整備すると、東京都が方針決めたんですよね。それからもう8年ぐらい経っているんですけども、その時に平成32年度まで、つまり来年度までに事業化すると東京都は公表してきたわけです。

来年度に迫っております、これをやっていただかないと全体で26ヘクタールありますから、練馬区の中で大きな部分を占める、大変緑豊かな土地なんですね。ここを都の方針を決まった以上は速やかに実行していただきたいなと思っております。そうでないと、区だけじゃなくて西武も困りますので、ぜひお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。私からは以上であります。

○知事 具体的な課題、そしてまた今後の練馬区のビジョンを含め伺わせていただきました。具体的なお話として、まず都市インフラの関係で、区と連携図りながら進めていく、また都が所管する都市計画道路事業であるとか、それから西武新宿線の連続立体交差事業等々、着実に推進をしております。また区が主体となって進める事業については、必要な支援を行ってまいります。

それから外環の2ですけれども、地域の幹線道路網の形成ということで、南北方向の交通の円滑化に寄与するものでございまして、重要な都市計画道路であるという点を住民と

しても認識いたしております。それから連携して説明会を区と都で重ねておりますし、また昨年12月には石神井駅周辺地区の事業認可を取得をしたところでもあります。これからも関連事業との連携を図りながら、外環の2の整備を進めていくことといたしております。

それから今度は鉄道の方ですが、御承知のように都は国の答申で事業化に向けて検討等を進めるべきとされてまいりました6路線について、兼ねてより御主張の大江戸線の延伸をはじめとして、6路線を中心に事業スキームの構築に向けた検討等も実施をしているところであります。

大江戸線の延伸については、事業化に関する検討を進めております。そして収支の採算性の確保という点が必要であるということからも、どうすれば沿線の住民等、お客様が増えるか等、それから一方でさらなる混雑の対策をどう打っていくか。両方から考えていかなければならないということがございますので、引き続き練馬区と連携しながら、この大江戸線の延伸の事業化について検討をしてまいります。

豊島園については私もすぐそばに住んでおりますので、子供達のそばを通ると子供達の声が聞こえるのは大変いい所かと思えます。防災公園という案についてももう長年、私も国会議員の時代からも聞いていることとございますし、改めてこの現状と今後についての在り方も含めて、考えていきたいと思っております。

○行政部長 いかがでしょうか。

○練馬区長 私は余り政治的な人間じゃないものですから、今の御言葉はそのまま受け取らせていただいて、大江戸線は頑張ってくださいと。そしてまた、としまえんも早期に買収なり、方針なりを決めていただく、方針は決まってるわけですから、事業実施をしていただきたいと、ぜひお願いしたいと思えます。

○行政部長 よろしいでしょうか。お時間、もうちょっと。

○練馬区長 もっと積極的にいっていただければ、それに越したことはない。

○知事 どのような言葉を使うかはよく御承知のとおりでございます。

○練馬区長 検討と言っていたので。

○知事 でも基本的に東京都がこれからも国際競争に打ち勝てる状況であり、そしてまたそれを支える人々が住みやすい、安全な東京であり続けるためにも、先ほどのこども園の話等はまさしく初めてのチャレンジだったと思えます。練馬区において働くママさん達が生き生きとする等、実際にこれまでも政策を一つ一つ実現されておられることに敬意を表したいと思えますし、またいろいろ参考にさせていただきたいと思っております。

○練馬区長 今お話があったように、東京がこれから世界の中で都市間競争に負けないと、もっと発展していくと、それが一番大事なことだと思っておりますので、練馬区だけで何かということは当然あり得ないわけですから、道路網は飽くまでも東京の道路網の一貫だし、大江戸線も地下鉄も全体のシステムの一貫であって、練馬区は冒頭に申し上げたように、都心に近い緑豊かな魅力ある住宅都市として、その東京の発展を支える、言わばヒンターランドとまで言うのであれば、そういった感じできちんとやっていきたいと思っておりますので、どうか今後ともよろしくお願いいたします。

○行政部長 ではお時間になりますので、そろそろ意見交換を終わらせていただきます。
本日はどうもありがとうございました。